

令和4年度第2回山形県健康長寿推進協議会議事録概要

日時：令和5年3月20日（月）

午後1時30分～3時

場所：山形県自治会館 201号会議室

1 報告事項

(1) 令和5年度主要事業（ウォーキングプロジェクト）について

<山形県栄養士会 西村委員>

ウォーキングに関しては歩数だけでなく、消費エネルギーを考えないと成果が見れない。

一般的に消費エネルギーや写真を撮っただけで摂取カロリーが計算されるアプリがあり、厚生労働省の「通いの場アプリ」等で誰でも計測できる時代になっている。

そういった点も取り入れ、視野に入れて事業を進めていかないと幸福度ランキングの向上にはつながらない。

<事務局回答>

ウォーキングWEB大会では、一般的なアプリを使った事業を想定しており、今から受託事業者を決定する。

消費カロリーも重要であり、その点も含めて事業を進めていきたい。

(2) 山形県の健康にかかる現状（循環器病対策）について

<山形県保健医療大学 菅原委員>

循環器病の周知のための漫画は大変良い取り組みだと思う。今後、これをどのように配布していくのか。

<事務局回答>

漫画は、大人版、子ども版の二種類作成した。

大人版は10万部作成し、市町村役場、保健所、循環器内科の病院、その他スーパー等に配布している。また、新聞やテレビの広報で反響があり、問合せをいただいたところにも配布している。

子ども版は、小学校の4～6年生を対象とした分かりやすい内容で作っており、県内全ての小学校のクラスごとに2部ずつ配布し、図書コーナーに設置してもらっている。

残部もあるので、来年度も要請があれば随時送付して周知を図っていく。また、ある程度冊子がいき渡った時点でホームページに掲載する予定。

2 協議事項

(1) 健康やまがた安心プランの事業評価について

<山形県栄養士会 西村委員>

肥満傾向にある小学生の割合について、課題がある地域が分かれば伺いたい。

<事務局回答>

今、手元に地域毎のデータを持ち合わせていないので、スポーツ保健課に確認して後日お示しする。

<山形県栄養士会 西村委員>

減塩・ベジアップ事業の成果は見えてきていると思うが、農業県である山形県でなぜ野菜摂取量が少ないのか、全国の栄養士会会議でも不思議がられている。

減塩についても、女性の就業率が高い山形県では、惣菜を購入する率も多く、子どもも大人と同じものを食べるため、幼児の食塩摂取量が増えていることが課題となっている。

<事務局回答>

子どもが成長し、大人になって食事を作るということで次世代へつながり、そういった観点からも、子どもの食生活の改善は大切なことと捉えている。

今年度は教育庁と連携し、栄養教諭の方々とも議論しながら、食品にどれだけの塩分が含まれているか目で見えてわかるような減塩リーフレットを作成したところ。来年度は減塩カレンダーも作成し、小学校低学年を対象に授業で活用いただく。

そして、その教材を家庭に持ち帰って授業の内容を家族で話すことで、お子さんと一緒に家庭における減塩も進めていただく取組みを考えている。

3 その他

(1) 次期「健康やまがた安心プラン」検討体制について

(2) 今後のスケジュールについて

<事務局>

資料6 次期「健康やまがた安心プラン」検討体制及び資料7 今後のスケジュールについて御検討いただき、御意見や御提案がある場合は、3月末までに御連絡をいただきたい。

以上